

蒙古襲来と神風 - 中世の対外戦争の真実



「神風」という 幻想

その時、台風は来た。敵船は確かに沈んだ。
だが、良質な史料から導き出される結論は
通説とは大きく異なる――

中公新書 2461 定価 本体360円(税別)

[蒙古襲来と神風 - 中世の対外戦争の真実 下载链接1](#)

著者:服部 英雄

出版者:中央公論新社

出版时间:2017-11-18

装帧:新書

isbn:9784121024619

鎌倉中期、日本は対外戦争を経験する。二度にわたる蒙古襲来（元寇）である。台風が吹き、文永の役では敵軍が一日で退散し、弘安の役では集結していた敵船が沈み、全滅したとされる。だが、それは事実なのか。本書では、通説の根拠となった諸史料の解釈を批判的に検証。戦闘に参加した御家人・竹崎季長が描かせた『蒙古襲来絵詞』ほか、良質な同時代史料から真相に迫る。根強い「神風史觀」をくつがえす、刺激に満ちた一冊。

作者紹介:

目录: 序章 神風と近代史

第1章 日宋貿易とクビライの構想
第2章 文永の役の推移
第3章 弘安の役の推移
第4章 竹崎季長の背景
第5章 『蒙古襲来絵詞』をよむ
第6章 その後の日元関係
第7章 遺跡からみた蒙古襲来
終章 ふたたび神風と近代へ
・・・・・ (收起)

[蒙古襲来と神風 - 中世の対外戦争の真実](#) [下载链接1](#)

标签

日语

历史

蒙元史

日本

评论

[蒙古襲来と神風 - 中世の対外戦争の真実 下载链接1](#)

书评

[蒙古襲来と神風 - 中世の対外戦争の真実 下载链接1](#)